

そのラベル、さっと剥がせます！ ラベル剥離機メーカー「ユニック産業」

ユニック産業

ユニック産業（川崎市高津区宇奈根、佐藤恵樹代表取締役、044・844・5663、<http://www.unick.com/>）は、1975年より、ラベル剥離機の製造・販売を行っている。ラベル剥離機とは、1枚ラベルを剥がすと次の1枚が自動的に繰り出して、取り出しやすいよう5mmほど端部をめぐっておく機械である。台紙からシールを剥がす手間を省き、手作業でのラベル貼り作業の効率を格段に高めることができる。

販売開始から5万台以上の販売実績をもち、化粧品メーカーや食品業界、医療機器メーカー、自動車部品メーカーなど、業界問わず高い信頼を得ている。また、ラベルの販売も行っており、年間受注枚数は約1千万枚にのぼる。

老舗のラベル剥離機メーカーとして有名な同社は、2017

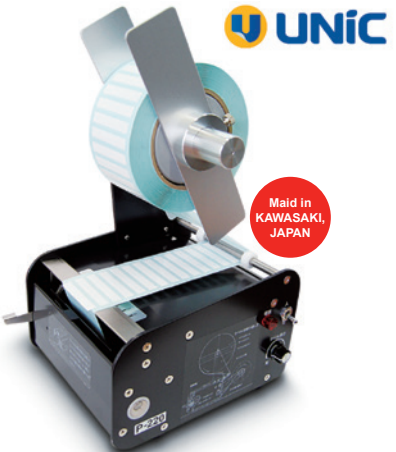


ユニック産業と津田山製作所の代表を務める佐藤恵樹氏

年、高齢であった前社長から、当時製造委託先であった「津田山製作所」の佐藤代表へと事業を引継いだ。現在では、両社があらゆる面で緊密に連携し、また若いメンバーが中心となりながら、正に第二創業期ともいべき様々な挑戦を続けている。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、取引先の設備需要が低下するなど、ラベル剥離機の販売にも大きな影響があった。こうした状況を打開する新たな取組みとして、

2021年11月に本社の隣に第2工場を設立。塗工機を導入し、ラベル基材からの一貫したラベル製造、テスト塗工や特殊粘着紙の製造を計画している。コロナ禍に立ち向かい、新たな事業展開を見せる同社の活動から目が離せない。



*オプション75φ紙管内スパーサー装着